

Community Learning Centers of Okayama

岡山の公民館

No.
65

令和7年3月 編集発行 岡山県公民館連合会

〒700-0016 岡山市北区伊島町 3-3-1 岡山県生涯学習センター内

電話 086-251-9751

ホームページ【<https://www.pal.pref.okayama.jp/kenkouren/>】



令和6年度 主な行事予定

●令和6年度岡山県公民館連合会総会・研修会

期日：令和6年5月28日(火)

場所：岡山県生涯学習センター 大研修室 他

●第46回全国公民館研究集会香川県大会 兼 第46回中国・四国地区公民館研究集会香川大会

期日：令和6年10月17日(木)・18日(金)

場所：レクザムホールほか

美作ブロック

奈義町文化センター

「生涯学習フェスティバル ボランティアのみなさん」



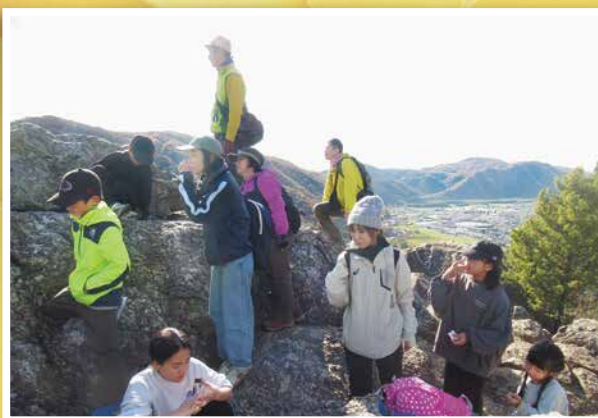
備中ブロック

高梁市有漢公民館 「風ぐるまサマーフェスタ前夜祭」



備前ブロック

赤磐市中央公民館 「カブト岩登山で自然みつけ！」



Index

各ブロックから・主な行事予定	1
挨拶・令和6年度表彰	2
令和6年度岡山県公民館連合会事業	3
第8回公民館職員が選ぶ！講座アワード	4・5
第46回全国公民館研究集会香川県大会 兼 第46回中国・四国地区公民館研究集会香川大会 第36回全国公民館セミナー 「第47回全国公民館研究集会東京大会」のお知らせ	6
公民館 ひと・ひと・グループ	7
まちから むらから フォトレター	8

公民館記章



このシンボルマークは、公民館の「公」の字を図案化し、しかも、全体の形を「館」になぞらえたものである。

昭和53年 4月1日 制定
昭和35年10月1日 適及適用

「公民館に思う」

岡山県公民館連合会会長 竹井 千庫



公民館長はじめ職員の皆様、日々、人づくり、つながりづくり、地域づくりの拠点として、公民館活動の振興にご尽力いただいておりますことに敬意を表しますとともに、厚くお礼を申し上げます。

私は、昨年5月に熊谷前会長の後任として、県公民館連合会の会長に就任した竹井千庫と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私自身、齢70を迎え、これからの人生をどう過ごしていくのか、自分にとっての生きがいとは何か、仕事以外の人たちとのつながりをどのように作っていけばいいのかを切実に考えるようになってまいりました。妻が地元の公民館での活動に参加しており、私はその様子を聞き、講座案内でどのような講座があるのかを知り、秋の公民館祭りにも出向きました。展示されている作品はどれも玄人はだして圧倒されましたが、「誰しも最初から上手にできるわけではない」と自分を励まし、来年度の講座を探そうと思っています。

公民館は、高齢者の生きがいづくりや、新たな人との出会いの場の提供だけでなく、若者や動き盛りの年代の方々のニーズに対応した活動も期待されていると思います。

また、近年は地域の活性化や地域づくりといった活動が盛んに行われています。大人が中心になりながらも、小・中学生や高校生を巻き込んだものも多く見られるようになりました。公民館には地域の学びのプラットフォームとして、子どもの居場所や住民相互の学び合いなど、交流を促進する役割が期待されています。このような活動が継続していけば、子どもたちは地域に愛着を持ち、次のリーダーに育っていくものと思います。そして、活動の輪がどんどん広がっていくことで、地域の活性化にもつながっていくのではないのでしょうか。

公民館には、ぜひこうした活動の拠点として、また支援者としてお取り組みいただきますようお願いいたします。

輝く令和6年度 受賞

文部科学大臣表彰 優良公民館表彰

【優秀館】岡山市立高島公民館

高島公民館では、地域づくりと学びの拠点として、若者をはじめとする新たな人々を巻き込みながら、仲間づくりを推進している。子どもを核としたまちづくりを進めるため、教員・保護者・地域住民・小中高生などが参加する「地域協働学校研修会」を開催し、目指す子ども像を共有するとともに、熟議を通じて協働の機運を高めている。

さらに、防災士や PTA 役員を中心に「高島・旭竜防災教育グループ(TKB)」を立ち上げ、小学校の授業に出前講座を実施するほか、授業と連動させた体験型講座「高島防災クエスト大作戦」を開催するなど、地域課題の解決や地域の活性化に向けて、住民が主体的に企画・運営を行っている。

また、岡山市立公民館の基本方針における重点取組である「若者が未来をつくる」活動の具体化を図るため、「中高生ボランティア 高島地域づくり隊」を地域の大人スタッフとともに立ち上げた。隊員は、大人スタッフによる研修を受けて学びを深めながら、地域でのボランティア活動にとどまらず、「地域づくり隊全員で高島の人を笑顔にする」をスローガンに掲げた自主イベントの企画・運営にも取り組んでいる。こうした活動を通じて、次世代へとつなぐ新たな地域づくりが進められている。

【表彰館】新見市神郷公民館

新見市神郷公民館では、地元の伝統工芸である「神代和紙」の伝承・保存活動を目的として、地元組織を中心に活動に熱心に取り組んでいる。

伝承活動では、地元組織である「神代和紙保存会」のメンバーを講師として、大人を対象とした和紙を用いた風鈴作り講座などを開催しているだけでなく、地元園児、小学生を対象とした灯籠作り講座のほか、平成29年からは小学校の卒業証書を紙漉きから始めて「神代和紙」で作成する講座を開催するなど、地域の子どもたちにも対象が広がってきている。併せて、保存活動では、和紙の原材料であるミツマタの皮むきや黒皮しじりの作業体験なども行い、原材料の大切さに目を向ける活動も行っている。

これらの取組により、園児、小学生を含む地域住民が伝統工芸に触れ、体験する機会をとおして、地域の子どもたちと神代和紙保存会のメンバーが交流することは、異なる世代間での貴重な交流の場を築いているという点においても、その役割は大きいと考えられる。

全国公民館連合会表彰（4名）【永年勤続職員表彰】

高畑 益巳（津山市田邑公民館 館長） 天野 ひとみ（総社市中央公民館浅尾分館 分館主事）
寺坂 信也（奈義町公民館 前副参事） 二宮 直基（奈義町公民館 館長）

岡山県公民館連合会表彰（23名）【優良職員表彰】

佐田野 公徳（倉敷市教育委員会市民学習センター 主任）	八木 誠二（津山市高田公民館 館長）	高山 和枝（津山市高倉公民館 館長）
忠政 泰男（津山市広野公民館 館長）	高山 弘道（津山市清泉公民館 前館長）	岸本 昌義（津山市西苔田公民館 館長）
安藤 豊史（津山市津山東公民館 前館長）	大賀 易（玉野市立荘内公民館 館長）	道上 早苗（玉野市立田井公民館 館長）
東馬場 省吾（笠岡市大井公民館 館長）	松尾 洋平（総社市昭和公民館 次長）	最相 信雄（総社市中央公民館総社分館 分館長）
井上 憲司（総社市昭和公民館富山分館 分館主事）	藤本 佳子（備前市立吉永地域公民館 主査）	難波 均至（赤磐市立吉井公民館 館長）
末宗 悦子（美作市作東公民館 公民館管理員）	井上 昌子（美作市湯郷地域交流センター 施設管理員）	花房 眞（鏡野町立大野公民館 館長）
池田 弘子（鏡野町立泉公民館 館長）	小椋 美典（鏡野町立羽出公民館 館長）	野口 貴子（鏡野町立富公民館 事務員）
二宮 直基（奈義町公民館 館長）	寺坂 信也（奈義町公民館 団務員）	

敬称略・順不同

令和6年度 岡山県公民館連合会事業

理事会・ブロック会・総会・第1回 研修会

開催日 令和6年5月28日(火) 場所 岡山県生涯学習センター

【理事会・総会】○令和5年度事業報告・決算報告及び監査報告

○令和6年度事業計画(案)及び予算(案) 他

【ブロック会】○ブロックごとの情報共有

【内 容】○講義「公民館における人づくり・つながりづくり・地域づくり」

講師 青山学院大学教育人間科学部教育学科 教授 山本 珠美 氏

○情報交換

社会教育や公民館の果たす役割について、県内や県外の事例を紹介していただきながら、その重要性やこれからの公民館のあり方について御教示いただきました。



第2回 研修会

【久米南会場】開催日 令和6年6月20日(木) 場所 久米南町コミュニティセンター

【高梁会場】開催日 令和6年6月21日(金) 場所 高梁市文化交流館

【内 容】○講義「やる気スイッチを押してみよう！」

講師 島根県飯南町赤名公民館 主事 景山 良一 氏

○演習「住民の『やってみたい!』を引き出す講座づくり」

住民とともにある公民館にしていくために、住民の主体性を大切にしたい実践を学び、住民や職員の「やる気スイッチ」を押す講座づくりをしました。



第3回 研修会

開催日 令和6年7月19日(金) 場所 岡山県生涯学習センター

【内 容】○講義「公民館でワクワクしよう!～住民のやってみたい!をカタチに～」

講師 沖縄県那覇市若狭公民館 館長 宮城 潤 氏

○演習「地域の未来は地域でつくる」

若狭公民館での豊富な実践をご紹介いただきながら、活動を継続する上で、入りやすく、抜けやすい場を設定することや職員自身が楽しそうに取り組むことの大切さなどを御教示いただきました。



第4回 研修会

【岡山会場】開催日 令和6年12月17日(火) 場所 岡山市立福田公民館

【勝央会場】開催日 令和6年12月19日(木) 場所 勝央町公民館

【内 容】○演習「そうだ! 公民館に行ってみよう」

～ナトコ映画から考える公民館の過去から未来、そして現在～

○公民館見学

戦後と現在、そしてこれからの公民館の役割について話し合いました。そして、会場となった公民館の見学を通して様々なアイデアや気づきを得られました。



第5回 研修会

開催日 令和7年1月31日(金) 場所 岡山県生涯学習センター

【内 容】○トークセッション

令和5年度 第7回「公民館職員が選ぶ! 講座アワード」受賞館から学ぶ

発表館 岡山市立旭東公民館、岡山市立西大寺公民館、

倉敷市玉島公民館

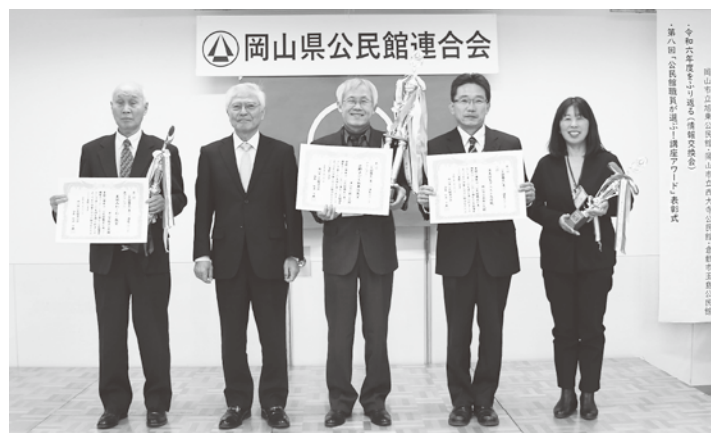
○情報交換会

○第8回「公民館職員が選ぶ! 講座アワード」表彰式 ※詳細は、P4・5

令和5年度 第7回「公民館職員が選ぶ! 講座アワード」受賞館のトークセッションに続けて、地域に根差した学びの場として果たす役割について情報交換を行いました。最後に、第8回「公民館職員が選ぶ! 講座アワード」のグランプリ・準グランプリ・3位の発表と表彰を行いました。



第8回 公民館職員が



本年度、第8回を迎えた「公民館職員が選ぶ！講座アワード」では、県内の公民館から98の「おすすめ講座」が提出され、その中から62の実践がアワードにエントリーされました。本当にありがとうございました。

投票された公民館職員から「他館の講座をしっかりと学んで自館の講座に活かしたい。」「力のこもった講座が多く、参考になります。」「他市町村の公民館の方と繋がることができる。ネットワークを広げることができる。」「色々な団体と連携して行っているところを参考にしたい。毎年続けることが大事。」「といった多くの感想をいただきました。また、「今一度、わが公民館やわが地域で抱えている課題、その解決のために住民を巻き込んで何ができるかを模索したいと思いました。ありがとうございました。」「といった前向きな声も届いています。

これからも「公民館職員が選ぶ！講座アワード」の取組が、「地域の枠をこえたつながりづくり」「アイデアの宝庫」となり、「公民館活動の活性化」につながるように努めて参ります。

ぜひ、各公民館の頑張りや新たな挑戦、ちょっとした工夫などをおすすめ講座として提出してください。県内の公民館活動の充実に向けて、来年度の講座アワードも、多くの公民館からのエントリーをお待ちしています。



「広野子ども歌舞伎教室」 津山市広野公民館 (17票)



【投票理由】

- 地域に伝わる伝統芸能の継承として、若い世代の歌舞伎体験を公民館が企画し、子どもが達成感を感じることで、今後地域で伝統芸能を大切に保護、継承していこうとする道筋ができていると思います。将来にわたって自分の住む地域を誇りに思い、担い手になっていくのではないかと思います。また、継続していくための資金や組織の整備も大切なことだと感じました。
- 子どもたちを対象に、地域に根付く文化を多くの関係者と連携・協働し、復活させたことが素晴らしいです。
- コロナ禍等の影響もあって、昔から続いていた行事が中止となってしまう、復活させるのが困難な状況です。しかし、これまで何世代にも渡って継承されてきた地域の伝統文化（伝統行事）にはやはり時代を超えて価値あるものが多く、そしてそれらを体験することによって、世代を超えての共通の話題ができて親睦を深めることが、しいては地域の発展につながると思いました。

広野公民館

広野子ども歌舞伎教室

目的

地域に根付いていたが中断した農村歌舞伎の復活継承。
子どもの居場所づくり。
子ども歌舞伎を核とした地域住民との世代間交流。
子供に成功体験をさせる。自己肯定感の獲得。

公民館での稽古風景

台本の読み合わせ
振付。普段の動きと違うよ
実際の舞台上で練習中！

田熊の舞台での公演

第1回公演
2023年10月25日 日曜日
重文指定記念式典

第2回定期公演
2024年11月3日 日曜日 15時開演

横仙歌舞伎との共演
2024年11月23日 土曜日 11時開演
場所： 奈義町文化センター

成果

農村歌舞伎を復活上演できた。継承していく道筋ができた。
子どもの居場所づくり。子どもの稽古を見学することで、地域で子どもを育てる意識の醸成。
演技指導、上演準備及び会場設定を通じて地域の住民と交流が図れた。
出演した小学生からまた来年もやりたいとの声が上がっている。
津山市、奈義町及び両教育委員会からの協力が頂けた。
横仙歌舞伎の指導を受けることで、行政区を越えた協力関係が築けた。

課題

安定した資金の裏付けが必要。（目前で髪、衣装、小道具を買い揃える必要がある。）
地域のサポート体制を組織化する。（例）実行委員会⇒保存会、保護者の組織

この事業は、（公財）福沢教育文化振興財団、エネルギー文化スポーツ財団、津山文化振興財団の助成金を受けて実施しております。

選ぶ! 講座アワード

講座アワードにエントリーされた全館の実践報告は
岡山県公民館連合会のHPからご覧いただけます。



「夏休みわくわく教室」

津山市院庄公民館 (13 票)



【投票理由】

- 子どもたちの居場所づくりとして、地域をあげて頑張っておられるところが、すごいと思います。地域の講師の方、また中学生ボランティアの人達の参加や企画もあり、子どもたちの笑顔がみられている事が、何よりうれしいことだと思います。
- 公民館の講座に中学生や高校生の参加が少ない現状ですが、院庄公民館の企画に中学生、高校生のボランティア参加があり、小学生への学習支援等、子どもの居場所づくりへの企画がすばらしいと感じました。
- 公民館が地域の世代を超えた交流の場所となり、地域課題の解決につながっており、昨今課題となっている若者（中学生）が、自ら自主的に地域に入り地域づくりに貢献しようとする姿勢は立派であると思います。子どもたちの参加者数より指導者をはじめ大人の人数が非常に多いことから、地域の子育てへの体制作りができていく様子が伝わってきました。

(津山市院庄公民館)
令和6年度「夏休みわくわく教室」

ねらい(地域課題)
津山市院庄公民館は地域課題を導く中で、夏休みの昼間、子どもだけでいない、朝食を食べていないなどの小学生が多数いるなど、地域の子どもたちに関する課題が見えてきたことから、その解決に向け、公民館が子どもの居場所づくりを進めるための企画をした。

具体的には、小学生を対象に夏休み期間を対象に4日間、ボランティアで元教師や職講師など教育の専門家に加え地域協力者を得て、学習支援を行うほか、食生活に関する食育講座を企画した。

これらを通じて、子どもと大人が触れ合い、地域の人関係づくりや学ぶ意欲の向上など地域をあげて子ども達を育てる雰囲気づくりと体感づくりを進める。

学年/月	8月1日	8月2日	8月3日	8月4日	月 日	8月1日	8月2日	8月3日	8月4日
1年	19	1	19	1	指導者	11	8	9	10
2年	11	4	11	4	支援者	22	22	20	17
3年	8	3	8	4	小中学生ボランティア	13	6	8	6
4年	5	8	5	7	中学	6	0	14	6
5年	1	3	1	4	高校	4	4	0	0
6年	6	3	6	1	小計	56	40	51	39
小計	50	22	47	21	合計	106	62	88	60

元教師、高校生、中学生の指導で夏休みの課題に挑戦

効果
この活動を通して、世代を超えて集い交流する中で、公民館が地域の居場所となり、地域の人づくりやまちづくりを進めることができた。中でも風化した傾向のあった子ども達が、学習支援や食育指導など通して数日間地域の方々と交流する中で、今までなかった新たな地域のつながりができた。
そして何より、地域の大人が子ども達の成長について共通理解し、地域あげて子ども達を育てる雰囲気づくりと体感づくりを進めることができた。
今年度から、中学生ボランティア生援団が、支援の在り方についての話し合いプログラムの3日間分間を利用して子どもたちが居場所を考えた支援した。中学生の自己肯定感・自己有用感が芽生えたのではないかと感じた。
指導した元教師、職講師、地域支援者にとって、自身自身が身につけた知識や経験が活かされる場が公民館に生まれ、子ども達と関わっていくことができたと思える声が聞かれました。



「高島防災クエスト大作戦」

岡山市立高島公民館 (12 票)



【投票理由】

- 小学生が楽しく主体的に防災について学べることを目的に、中高生・地域の企業・町内会長・大学・消防署などを巻き込んだ活動になっているのがすごいと思いました。中高生は小学生に教えることで、「災害時には自分たちも地域の人たちを助ける主体になる」という自覚を持つことができ、各団体の交流により生まれた関係性やお互いの新たな気づきで有事にも対応ができるようになると思います。回を重ね、各団体が連携して、どのように協力して災害時に対処していけばよいのか考え、活動できればよいと思います。
- 多世代交流・防災をおもしろくクエスト形式で行っているのが非常に印象的でした。子どもたちが楽しく防災を学べるんだらうなと感じました。
- 子どもたちが楽しみながら学べているなと感じました。加えて、非常に幅広い世代や地域の人材が関われる仕組みを高いレベルで実現されていて、大変すばらしいと思いました。

楽しみながら防災を学ぶ ～学校×地域×公民館の取組～
「たかしま防災クエスト大作戦」 岡山市立高島公民館

小学生が楽しく、主体的に学べ、ゲーム性を持つ防災体験型講座「たかしま防災クエスト大作戦」を地域の防災士・NPO 職員・IT 企業経営者・PTA・消防士・町内会長などで立ち上げた「高島・旭能防災教育グループ(TKB)」と高島公民館が行いました。

仕組①小学校4年生の社会の授業と連動して行う防災体験型講座
学校の授業を事前に聞き、地域の防災士に関する情報や知識をサポートする事前授業をTKBメンバーが行いました。そして授業の期間中に防災体験型講座を開催し、学んだことを実践する機会を作り、体験したことをさらに授業で活かすことで他の子どもたちにも広げようという学びの流れを学校と地域と共につくりました。

仕組②中高生の防災意識を高め、地域の担い手の育成につなげる
事前に研修を行い、防災体験型講座当日は中高生がブース運営しました。小学生にとって年の近い中高生の活躍は親近感が生まれ、参加した子どもたちの活動が活発になりました。また中高生にとっても災害時には自分たちも地域の人を助ける主体となるという自覚の芽生えにつながりました。

仕組③多様な主体がブース運営を行う
中高生の他に、大学、地元の企業、消防署など多様な人たちがブース運営を行ってくれました。講座を通して交流が生まれ、互いに新たな気づきが生まれました。

事後アンケートでは、回答者全員が「楽しかった」と答える
・防災のことが知れて、勉強になった。勉強がおもしろいなんて!!
・早めに避難することが大切だと知った。
・地震や火事などの時に、どうすればいいのかわかった。
・知っている中学生の人が防災のことを教えてくれた。すごいと思った。
・防災グッズがうまくできた。ユニフォームで履いて、家に帰って履いて、防災のことをお父さんに教えてあげた。

中高生が運営する「高島地域づくり隊」ブース
企業ブース
消防署ブース
TKBブース
スタッフみんなでお楽しみ

第46回 全国公民館研究集会香川県大会 兼 第46回 中国・四国地区公民館研究集会香川大会

全体会

第46回全国公民館研究集会香川県大会 兼 第46回中国・四国地区公民館研究集会香川大会が、10月17日(木)～18日(金)にレクザムホール(香川県県民ホール)等を会場に開催されました。『『今こそ公民館』～より良い地域の実現を目指して～』というテーマのもとに開催され、岡山県からは約100名の公民館関係者の皆様にご参加いただきました。

初日は、アトラクション「滝宮の念仏踊」と開会行事の後、「コミュニティの力と可能性ー妻有と瀬戸内と奥能登を例としてー」と題して、瀬戸内国際芸術祭総合ディレクターの北川フラム氏による記念講演が行われました。



分科会

2日目には、7つのテーマで分科会が行われました。岡山県内からは、以下の4名の方に事例発表者や助言者として、ご参加いただきました。

<第1分科会「伝統・文化の継承」>

事例発表者 高梁市有漢公民館 館長 湯浅 末子 氏
「長蔵音頭復活プロジェクト ～納涼ふるさと祭でつながりづくり～」

<第2分科会「地域の防災・減災」>

助言者 矢掛町小田公民館 館長 立間 庄二 氏

<第4分科会「学校や地域との連携・協働Ⅱ」>

事例発表者 岡山市立瀬戸公民館 副主査(社会教育主事) 入矢 裕一 氏
「ネクスト公民館」を見据えて 学校+地域+公民館の可能性

<第5分科会「家庭教育・子育て支援」>

助言者 勝央町役場健康福祉部 こども未来室 参事補 三戸 祥恵 氏



第1分科会



第2分科会



第4分科会



第5分科会

第36回 全国公民館セミナー

令和7年2月19日(水)～21日(金)の3日間、丸の内マイプラザホールにて開催された「第36回全国公民館セミナー」に参加されたお二方の感想を紹介します。

◆岡山市立旭東公民館 館長 森脇 晃義

「ツナガルシクミをみんなで作る」というのが主な研修課題でした。はじめに文部科学省総合教育政策局の榎木氏が、社会教育士が地域づくりの中核として役割を果たさなくてはならないと述べられました。ワークショップでは事例発表やそれに関する情報を共有し、公民館の地域性や活動についても意見交換を行いました。公民館活動の助けとなる示唆的な事例がいくつもあり、とても有益でした。

◆岡山市立西大寺公民館 社会教育主事 村田 憲治

研修テーマである「ツナガルシクミ」について、さまざまな分野で活躍されている方々のお話が聞け、幅広い観点からヒントをいただきました。特に藤浩志先生の「芸術における創作は未知なるものとながろうとする活動であり、認識している何かを伝えるためのものではない。知識ではなく情動でツナガルことが大切」という視点は、他者との関係性をどう築いていくかを日々考える公民館活動において、大変参考になるものだと感じました。

お知らせ

第47回 全国公民館研究集会 東京大会

【大会テーマ】 ミライにつなぎひろげる公民館ー公民館に新たなイノベーションをー

【日 時】 令和7年11月12日(水)・13日(木)

【場 所】 東京国際フォーラム



公民館 ひと・ひと・グループ



「今の西鶴山の子どもたちを取り巻く環境を知る」

備前ブロック

備前市立西鶴山公民館



初めて知ることが多く、地域での子育て環境を学びました。

毎年7月に地区「青少年健全育成会」と「安全の会」が合同で行っている地域の研修会。安全の会は小学生の朝夕通学の送り迎えをしている団体です。公民館は両会の事務局を務め、毎年、研修会の相談・立案・実施をしています。

小学校の全校児童が40名の小さな地域。子どもと接し見守る大人が地域の現状を学びました。①放課後児童クラブの代表の方から日々の過ごし方や様子を、②PTA会長でスポーツ少年団の世話役の方からスポーツや塾の環境を、③4人の子を育てた地域の硬筆・ペン習字講師の方から習い事事情を、④小学校の教頭先生から現代の「道徳教育」の内容について、多角的にお話をお聞きました。



「第九（^{よろこび}歓喜の歌）みんなで演奏会」

備中ブロック

里庄町中央公民館



「アメージング・グレイス」「川の流れるように」「春の海」など 各演奏者が披露しました。

12月1日に、里庄町内で活躍する個人・団体12組の有志ら64人が、町内で初めての「第九の会」を中央公民館の大広間で行いました。

第1部は、箏・大正琴・文化箏・歌声里ちゃん・歌謡・オカリナ・ハーモニカ・サクソ・尺八・ピアノ・三線さんしんの演奏者らが選んだ楽曲を披露し、第2部では和楽器などの特色を活かした編成で「第九」や「ふるさと」を演奏し、およそ70人の来場者とともに楽しみました。

里庄町の年末の風物詩として出演者・来場者が一体となって楽しむ場ができればという思いで開催し、感動の渦が巻き起こりました。



「地域の伝統を次の世代へ」

美作ブロック

美作市大原公民館



大原小学校児童の提案・協力で盛り上がった「大原の秋祭り」

地域の伝統行事である秋祭りを次の世代につなぎ、より一層盛り上げるため、地域の皆さんと大原小学校の児童と一緒に考え、様々な意見を取り入れ「大原の秋祭り」を盛り上げました。

祭りを盛り上げるため児童の発案で祭りに会場にキッチンカーを呼び、来場者の満足度を高めることができました。また、祭りの進行の司会を小学5年生が務めました。

他にも小学生が会場にごみ箱を設置し、独自に祭りポスターを制作するなど、自分たちの事として取り組んでくれました。この取り組みは今後も後輩児童に引き継がれていくことになります。

まちから むらから フォトレター



備前
玉野市立
中央公民館

「みんなでつくろうかんたん料理 ～ひとりぶんから始めよう～」

社会人や若い世代等の普段公民館をあまり利用しない層をターゲットとし、中央公民館との複合施設である玉野市立図書館所蔵の本を利用した料理講座を開催しました。「材料が少なく手間がかからない」をテーマに、参加者同士がゆるく教え合う和やかな活動になりました。



備前
和気町
中央公民館

「鶴のお飾り作り講座」

正月準備の一つ、しめ飾りや門松を飾る意味を学び、縁起のいい「鶴」のしめ飾りを自作する講座を企画しました。初挑戦の方もおられましたが、和やかな雰囲気の中、みんなで協力しながら作成し、伝統的な習慣を体験する貴重な機会になりました。



備中
総社市
中央公民館

「福寿学級」

65歳以上の方を対象に、全10回の講座を開催。スマホ教室、健康づくり体操、オカリナやパンフルートなどの楽器演奏の鑑賞、子ども神楽鑑賞や県内施設見学などを実施し、さまざまな角度から生涯学習への意欲を高めるきっかけを作ります。毎年50名を超える方が参加し、参加者同士の新たな交流と笑顔が生まれる人気の講座です。



備中
笠岡市
中央公民館

「まなびの発表会」

笠岡市中央公民館の44講座が、舞台発表・作品展示・食のブースで発表会を開催しました。

各講座生は、日頃の成果の発表や作品を展示しました。手打ち蕎麦講座や料理の鉄人講座のマスコット大福などはあっという間に完売し、「おいしかった。」という声が聞かれました。



美作
鏡野町
中央公民館

「公民館こうさくしつ ーせんしょくー」

今年度から新たに開講した、地域のアーティストが講師となり、みんなでものづくりを楽しむ講座です。小学生から大人まで幅広い方を対象とし、染色編では6歳から80歳の多くの方がオリジナルトートバック制作を楽しんでいました。作品制作はいつもとは違った視点で夢中になれる時間であるとともに、「地域にこんな人がいたんだ(ものがあつたんだ)！」という新たな発見や交流も与えてくれる有意義な活動となりました。



美作
新庄村
公民館

「野鳥のキッズレンジャーになろう」

現在環境省レッドリスト絶滅危惧1B類に指定されているブッポウソウは岡山県では関係者の尽力により保全効果が現れ、全国でも有数の営巣地となっています。そんな折に昨年新庄村や蒜山地域で数十年ぶりに営巣の痕跡が確認されました。

この機会にブッポウソウとはどのような鳥か、新庄村の自然の豊かさや残すべき環境はどのようなものなのかを学ぶ講座です。

